



大澤 ^{あるか}空流くん
「ブロッコリー
大好きです」
(寺尾)



宮原 ^{ゆう}悠くん
「わが家のアイドルです」
(大野原)



黒澤 ^{こうき}幸貴くん
「にいに大好きだよ」
(山田)



斉藤 ^{さんた}陽太くん
「お外遊びが大好き」
元気いっぱい!!
(山田)



応募方法

1～1歳半程度の市内在住のお子さんの写真を同封し、住所・保護者の氏名・電話番号・お子さんの氏名(ふりがな)・性別・生年月日・コメントを明記の上、秘書広報課までご応募ください。(メールの場合は、件名に「わが家のアイドル」、本文に必要事項を入力し、500KB以上の画像を添付の上、hisyo@city.chichibu.lg.jp まで) 抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。
※携帯電話のカメラで撮影する場合は、サイズを2M(1080×1920)以上に設定してください。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

地域の教育の核となって取り組みます
(小鹿野高等学校)



小鹿野高等学校は、在籍する生徒だけではなく、地域の方にとっても学びの場となる学校です。夏季休業中、公開講座を10本(昨年度は8本)計画しましたが、その数としては県内有数です。地域の小中学生だけでなく、毎年楽しみにしている一般の方もいます。冬季休業中も計画していますので、学校☒などの案内をご確認の上、ぜひご参加ください！また、漢字検定やビジネス文書実務検定など、地域の方も本校生徒と受検できるシステムを整えています。

このように本校は地域に欠かせない教育機関として、学校の資源を地域に提供しています。今後も、本校の目指す学校像である「地域に愛され、期待に応える学校」となるべく精力的に取り組んでいます。



市民文芸

短歌

いつまでも残暑厳しく老の身の首から保冷のタオル離せず
霧深し峠を越えて細き道娘の家がやつと見えたり
かたくなに黒電話もつ老いにして日びの受信は詐欺まがいなり
畑巡り毎日新鮮採りたての野菜料理に夕餉を囲む
オニヤンマ迎え火焚げば来て止まり待ち合すことしばし見つめ合う
あかつきに歩の速き音聞えくるアスファルトかむヒールの音が
秋あかね孫の見上げる空高しいろなき風の子らを包みぬ
そばの花広きに一面咲き誇る矢のようにはやい秋の訪れ
折紙で桔梗の花を教わりぬ老人ホームのたのしきひと日
ふいの客に持て成すものが何もなく初打ち蕎麦に蟹缶開ける

(評) 齋藤さん、首筋を冷やす暑さ対策、元気で暑さを乗り切った様子が的確に詠われています。木村さん、健気に暮らしている娘さんへの親心がしみみと伝わってきます。内田さん、黒電話とは懐かしい。詐欺にあわぬよう気をつけましょう。竹村さん、新鮮な野菜は何よりですね。石橋さんはオニヤンマは彼岸から飛んできたのかも知れませんね。榎本さん、若い女性の出勤時の足音でしようか。小川さん、下の句に詩情があつてすてきです。柏木さん、日暮れどきの白い蕎麦の花の情景が印象的に詠われています。橋本さん、皆さんの笑顔が浮かんでくるような作品です。加藤さん、すてきなおもてなし料理が出来たことでしょう。

※次回12月号は俳句を掲載します

綾部 光芳 選

短歌、俳句の応募は、住所・お名前(ふりがな)を明記の上、必ず通常はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2首または2句まで、各1通までです。

短歌 11月18日(月)締切→1月号に掲載
俳句 12月末締切→2月号に掲載